

紙藍会便り

2018年 第33号
組合員社数：27社
発行月：2018年10月

目次

- 1. 巻頭雑句
- 2. 六地区懇談会(名古屋)
- 3. コアレックス信栄視察
- 4. リサイクル出前模擬授業
- 5. アンケートデータ

巻頭雑句 ～ 知らんかい

第26回

豪雨・猛暑・逆走！？

2018年今夏

は記録に残る異常気象となった。まずは表題の最初にある西日本を中心とした集中豪雨で、多地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、死者数2000人を超え住宅被害も45824棟となり、上水道や通信といったライフラインに被害が及んだ他、交通障害も広域的に発生している。「平成最悪の水害」と報道され、気象庁も「平成30年7月豪雨」と命名した。

次に西日本は豪雨が明けた9日以降に

梅雨明け、それからすぐ全国的に猛暑が始まる。7月23日には埼玉県熊谷市で観測史上最高気温の41.1度になり猛暑が続かなかで熱中症による健康被害も深刻化している。

3つめの逆走！？であるが通常ではありえない「逆走台風」だ。通常偏西風により西から東へ向かうが今回の12号は東から西への逆の進路をとり気象庁も「異例中の異例」と説明している。原因は今回の猛暑の原因となった高気圧に関係しているようだ。

最後に被災された

方々に対し、心よりお見舞い申し上げると共に、今後より一層の体調管理、健康管理も含め非常時に備え危機管理を高めていく必要がある。また我々古紙業界も予測しにくい非常事態、情勢や変化に対応していく必要があると考える。

奥川 亮太



異例の動きを取った台風12号(画像:wikipedia)

7月12日、名古屋市内
キャッスルプラザにおいて六
地区懇談会が開催された。開
会の辞のあと、中部製紙原料
商工組合70周年のお知らせ
せと雑誌選別強化のチラシ作
成したとの報告が石川理事長
よりなされた。懇談会時には、
市況・輸出状況などの報告が
各地区よりなされた。
会議終了後は、武田邦彦氏に
よる講演がなされ、リサイク
ルに関する厳しい指摘や議論
を展開した。



六地区懇談会様子

7月13日、静岡市内に
あるコアレックス信栄の
視察見学をおこなった。綺
麗な外観とともに、周辺へ
の避難場所としても提供
しているとの事もあり各
区に避難場所・海抜Om
等の表示がされていた。雑
がみ利用については、通常
禁忌品に類する品も集め
使用しているが、専用設備
を利用しての、将来的な古
紙不足に備えるため手段
との事であった。尚、禁忌
品の中より多くの紙が使
用可能だが、それでも抄き
色の紙・捺染紙は使用不
可となるとの事であった。



コアレックス信栄前にて

8月7日、9
月11日、紙藍
会定例会時にお
いて、リサイク
ル出前模擬授業
(座学・ハガキ
作り体験)を実
施した。座学に
おいては、講師
としてのおこな
際の時間配分や
話の構成につ
てが体感でき、
ハガキ作りにお
いても楽しさ
も実際に古紙
からハガキが
きかめできた。
る事ができた。

6月・7月・8月 ハラ物数量対前月・前年推移データ(平均値記載)

(単位%)	段ボール			新聞			雑誌		
	6月	7月	8月	6月	7月	8月	6月	7月	8月
対前月	97.86	104.42	97.77	95.23	99.91	100.92	91.29	96.83	100
対前年	100.71	101.92	98.77	95.15	94.64	93.08	88.29	95.08	92.69

詳細なアンケートデータは紙藍会定例会時に配布しています。